

きつづ学習スタンダード

木津川市立木津小学校

2019. 4. 8

本校では、今年度も基本的な学習用具や学習スタイルについて、「きつづ学習スタンダード」としてまとめ、全クラスでより一貫性のある指導を行っていくこととしました。

「きつづ学習スタンダード」を示すことにより、次のことをねらいます。

- ① 学年やクラスによる基本的な学習ルールの違いを無くし、子どもたちへの指導をより徹底させるため。
- ② 学年進級を見通して、指導の一貫性を図るとともに、学年の発達段階にそった指導を積み上げていくため。

下記に示す内容は、現在の具体的な内容の一部ですが、今後も教職員間の共通理解を図りながら、より充実した内容にすべく検討していく予定です。

【学習スタンダードの内容】

項目	内容
学習の始め方・終わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムまでに次の学習の用意をする。 ・教師の指示、または係の子どもが号令をかけ、授業の始まりと終わりを明確にする。(学年に応じたあいさつのしかた)
発言の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・考えている友達の迷惑にならないように静かに手を挙げる。 (「はい」は言わない。) ・指名されたら、「はい。」と返事をして、起立してから発言する。
話し方・聞き方	<ul style="list-style-type: none"> ・話す人は、聞き手のほうを見て、聞く人は、話し手の顔を見て聞く。 <p>※「話し名人・聞き名人」の約束ができるようにする。(教室掲示)</p>
ノートのとり方	<p>○学習の足あとが残るノート・学習力につながるノートを作る。</p> <p>【例】算数(教科によって違いはある。)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 日付 (2) 単元名など (3) 学習のめあて (4) ページ (5) 問題番号・問題文(学習内容によって違ってくこともある。) (6) 学習の振り返りを書く。 <p>※直線を引くときは、定規を使う。 ※基本的に、見開き1ページで1時間の授業の流れを組み立てる。 学習内容によっては例外もある。</p>



【学年別使用ノート】

	国語	算数	理科・社会
1年	10マス×7行	1冊目10マス×6行 2冊目15ミリマス (たて型)	
2年	1冊目12マス×8行 2冊目15マス×10行	1冊目15ミリマス 2冊目12ミリマス	
3年	18マス×12行	12マス×17行	5ミリ方眼
4年	10ミリ方眼	5ミリ方眼	5ミリ方眼
5年	22マス×15行	5ミリ方眼	5ミリ方眼
6年	28マス×20行	5ミリ方眼	5ミリ方眼

各学年とも、使用するノートは年間を通じて学校で一括購入します。

(1・2年…国・算)(3・4・5・6年…国・算・社・理)

使っているノートがなくなった場合は、担任から指定のノートを配布します。



【学習用具の決まり】

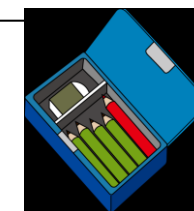
- ・シャープペンシルは使わない。
- ・下敷きを使う。

【学習セットの中身3~6年】

- ① 三角定規
 - ② 分度器
 - ③ コンパス
 - ④ のり
 - ⑤ はさみ
- ※少人数授業のときにも必要な持ち物です。

【ふでばこの中身】

- ① えんぴつ5本
 - ② 赤えんぴつ1本(1~4年生)
(5・6年生は赤・青の2色ボールペン)
 - ③ よく消えるシンプルな消しゴム
 - ④ 定規(1・2年生は先生の指示に従って使う)
- ※ふでばこもシンプルなもので。



【その他】

○読みかけの本を入れる袋(ブックかばん)を教室の机の横につるしておいて、読書に親しむ。

○3年生以上は袋の中に国語辞典も入れて、いつも辞典が活用できるようにする。
(わからない言葉があればいつでも調べる。)

※袋は破れにくい布製で、手さげ袋の形が使いやすい。